

平成26年10月吉日

関係各位

日本道德教育学会第84回（平成26年度秋季）大会開催案内

日本道德教育学会会長 押谷 由夫
第84回大会運営委員長 田邊 重任

この度、日本道德教育学会第84回大会を高知大学で開催する運びとなりました。全国からのお集まりの諸先生と高知県、四国の関係者が豊かに学び合える二日間となるよう、学会運営スタッフ一同、心より皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、会員でない先生方も毎回、当日会員として多数ご参加いただいておりますので、皆様誘い合っでご参加くださいますようお願い致します。

大会テーマ 教科化時代の道德教育を考える

【大会テーマ設定の趣旨】

道德教育の重要性と充実への期待が高まる中で、半世紀以上を経た我が国の道德教育を改善するための強いメッセージ性をもった教科化についての議論が深まっています。

私たちは戦後最大の道德教育改革というべきこの時期を、我が国のこれからの道德教育の飛躍につなげる大切な時期ととらえています。

教科化は国民みんなの問題ですが、教科化の取組みが実を結ぶためには道德教育を推進する学校現場に、今一度目を向け、議論を深める必要があると考えます。道德授業の効果的な指導方法が共有されているのか、道德教育に対する忌避傾向や軽視化傾向などの教員の意識の問題を解決するための検討が十分尽くされたのか、残された課題はないのかなど果敢に議論を深め、これからの道德教育を展望したいとの思いを共有したく本大会テーマを設定しました。

- ◇ 期日 平成26年11月29日（土）～30日（日）
- ◇ 会場 高知大学朝倉キャンパス
大会事務局 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学教育学部
田邊研究室（TEL 088-844-8393 E-mail: sigetou@kochi-u.ac.jp）
- ◇ 主催 日本道德教育学会 ◇ 共催 高知大学
- ◇ 後援 文部科学省 高知県教育委員会 全国小学校道德教育研究会 全日本中学校道德教育研究会 全国公民科・社会科教育研究会 高知縣市町村教育委員会連合会 高知市教育委員会 高知県小中学校PTA連合会 高知県小中学校長会 高知市立小中特別支援学校長会（予定を含む）
- ◇ 参加申込み 本大会特設HPより（または、FAX: 088-825-0170、TEL: 088-825-0109）
昼食・宿泊先もご希望によりご案内
（取扱：トップツアー株式会社 高知支店）
なお、特設HPは、本学会の常設HPからもアクセスできます。
- ◇ 大会参加費 会員：3,000円 当日会員：（2日間）2,000円、1日参加1,000円
懇親会費：4,000円

大会プログラム

大会1日目 11月29日（土）

受付 12:00～ 《☆理事会 11:00～12:30（共通教育3号館335番教室）》

① 開会行事 13:00～13:20 共通教育2号館222番教室

開催校歓迎挨拶 高知大学学長	-----	脇 口 宏
日本道德教育学会会長挨拶	-----	押 谷 由 夫
第84回大会運営委員長挨拶	-----	田 邊 重 任

② シンポジウム I 13:20~15:20

実践に基づく道徳授業の新しい提案
～これまでの道徳授業で実践したことの成果と課題を踏まえて～

道徳の時間の指導に関する議論においては、様々な指導の方法が提案され、道徳授業の工夫や開発に一層の期待が寄せられています。

教科化時代といわれるこの時期に、あらためて道徳教育の重要性を確認するとともにこれまでの実践の成果と課題に真剣に向き合い、これからの道徳授業の在り方について議論を深めたいと考えています。

コーディネーター	七條 正典	(香川大学)
シンポジスト	榎本 洋	(いの町立枝川小学校)
	三ツ木純子	(川崎市立鷺沼小学校)
	太田 和男	(京都市立双ヶ丘中学校)
	前田 哲雄	(鳥取市立青谷中学校)

③ 講演 15:40~17:10 共通教育2号館222番教室

教科化時代の道徳教育に求められること

元関西学院大学教授 横山 利弘

☆ 懇親会 17:30~19:30
於：高知大学学生会館

大会 2 日目 11月30日(日)

受付 8:20~

① 自由研究発表 9:00~11:55

(発表・・・25分・質疑・・・15分 1 鈴・・・20分、2 鈴・・・25分、3 鈴・・・40分)

- 第1分科会 (142番教室) 司会：竹内 善一(元鳥取大学)**
- 9:00~ 9:40 新渡戸稲造の社会教育 ～雑誌『実業之日本』を手がかりとして～
森上 優子(文部科学省)
- 9:45~10:25 新井白石の儒教思想にみる「道徳」
徳重 公美(お茶の水女子大学)
- 10:30~11:10 O. F ボルノーの実存的道徳教育に関する研究
～生き方を考える出発点としての「死の問題」を中心にして～
佐々木 哲哉(岩手県滝沢市立一本木中学校)
- 11:15~11:55 道徳の問題における善悪の原理 その三
～シェリングの理性観を手掛かりに～
安部 日珠沙(鹿島学園高等学校)
- 第2分科会 (141番教室) 司会：廣川 正昭(新潟医療福祉大学)**
- 9:00~ 9:40 人間における志向性の共有とそこから導かれる道徳教育の可能性
走井 洋一(東京家政大学)
- 9:45~10:25 道徳的主体とその幻想の可能性について
渋谷 昌雄(島根大学)
- 10:30~11:10 「道徳的な心情」をどのように理解すればよいか
中野 康一(鳴門教育大学大学院)
- 11:15~11:55 宗教を基盤にした日英初等教育での価値教育の実際
東風 安生(早稲田大学系属早稲田実業学校初等部)

- 第3分科会** (137番教室) 司会：谷田 増幸(兵庫教育大学)
 9:00～ 9:40 高校生期の発達課題と多様な道徳学習に関する研究
 ～教科「福祉」におけるグループワーク実践を通して～
 柚木 康代(東京医療保健大学)
- 9:45～10:25 幼児期の擁護性(道徳性)を育むためにⅡ
 ～幼小連携カリキュラムを踏まえて～
 淀澤 勝治(兵庫教育大学)
- 10:30～11:10 「特別の教科道徳時代」への自己課題点検と提言
 大庭 茂美(九州女子短期大学)
- 11:15～11:55 「特別の教科・道徳」の創造
 ～先人や先哲の生き方や考えを教える「道徳・倫理科」の実践研究を通して～
 松元 直史(福岡市立照葉中学校)
- 第4分科会** (134番教室) 司会：毛内 嘉威(秋田公立美術大学)
 9:00～ 9:40 シティズンシップ教育と連携した道徳学習
 植田 清宏(京都市立神川小学校)
- 9:45～10:25 自立した生活を送ろうとする児童を育てるキャリア教育
 中野 真悟(愛知県刈谷市立小垣江東小学校)
- 10:30～11:10 いじめに関する道徳授業の一試案
 ～自作資料と子どもの現実からの話合いを通じて～
 坂井 親治(愛媛県西条市立西条東中学校)
- 11:15～11:55 書道教育を通しての人間形成(2)
 ～書道教室に通う子ども達の分析を中心として～
 渡邊 祐子(昭和女子大学大学院)
- 第5分科会** (133番教室) 司会：杉中 康平(四天王寺大学)
 9:00～ 9:40 価値を連関させ統合する学習の在り方
 木原 一彰(鳥取大学附属小学校)
- 9:45～10:25 即興的な役割演技の構造に関する実践的研究
 ～監督役割の遂行を中心に～
 ○北川 沙織(名古屋市立平針北小学校) 早川 裕隆(上越教育大学)
- 10:30～11:10 道徳の時間を充実させるための取り組み
 足立 由美子(東京都墨田区立寺島中学校)
- 11:15～11:55 郷土の偉人を用いた資料による授業の検討
 天野 幸輔(愛知県岡崎市立北中学校)
- 第6分科会** (132番教室) 司会：行本 美千子(兵庫教育大学)
 9:00～ 9:40 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して
 ～授業展開について・道徳的価値およびそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深めるために～
 ○松原 弘(大阪府和泉市立郷荘中学校) 藤井 裕喜(京都市立大宅中学校) 永吉 洋子(大阪府河内長野市立西中学校)
- 9:45～10:25 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して
 ～評価について～
 ○藤井 裕喜(京都市立大宅中学校) 永吉 洋子(大阪府河内長野市立西中学校) 松原 弘(大阪府和泉市立郷荘中学校)
- 10:30～11:10 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して
 ～資料について～
 ○永吉 洋子(大阪府河内長野市立西中学校) 松原 弘(大阪府和泉市立郷荘中学校) 藤井 裕喜(京都市立大宅中学校)
- 11:15～11:55 生徒が本気になる道徳授業
 鈴木 賢一(愛知県愛西市立八開中学校)

第7分科会 (127番教室) 司会：林 敦司(鳥取県八頭町立大江小学校)

9:00～ 9:40

道徳授業評価に関する基礎的研究
～実践的アプローチの検討～

田沼 茂紀(國學院大學)

9:45～10:25

「道徳の時間」における発問の比較検証

上垣 雅史(大阪府柏原市立柏原東小学校)

10:30～11:10

認め合い深め合う「対話」の授業を求めて

～「中心発問」と「対極の発問」～

名和 優(京都府亀岡市立詳徳中学校)

11:15～11:55

組織で取り組む道徳教育

～道徳教育推進教師を中心に個々の授業力を高める一方策～

櫻井 雅明(群馬県藤岡市立美九里東小学校)

第8分科会

(125番教室) 司会：植田 和也(香川大学)

9:00～ 9:40

成長実感を大切にする道徳授業

柴田 八重子(愛知淑徳大学)

9:45～10:25

資料「手品師」を用いたモラル・アフォーダンス獲得の道徳授業の実践
とM-GTAによる分析の試み

○吉田 誠(山形大学) 中川 裕幸(山形大学附属小学校)

10:30～11:10

不登校を再登校に導く

～コンプリメントトレーニングⅢ～

森田 直樹(香川大学教育学部附属坂出学園スクール カウンセラー)

11:15～11:55

現行学習指導要領(道徳)の本質的問題点と抜本的改善策について考える

橋本 唯隆(教育研究者)

昼 食

《☆評議員会 12:00～13:00 (共通教育3号館335番教室)》

② シンポジウムⅡ 13:20～15:20

教科化は道徳教育に対する忌避傾向や軽視化傾向を克服できるか
～教科化に向けて取り組まなければならない課題は何か～

道徳の教科化は、平成25年2月の教育再生実行会議においてわが国の道徳教育を改善するために提言されました。ここでの重要な課題は道徳教育への忌避や軽視の原因がどこにあるかを具体的に再検討することであると考えられます。

教科化時代の道徳教育を充実させるために、道徳教育の課題の本質を深くとらえ、何ができて何ができていないのか、残された課題は何か、これまで築き上げてきた取組みをどう評価し発展させればよいか具体的な議論を深め、これからの道徳教育を展望したいと考えています。

コーディネーター 押谷 由夫(昭和女子大学)
シンポジスト 柴原 弘志(京都市教育委員会)
田沼 茂紀(國學院大學)
永田 繁雄(東京学芸大学)
西尾 洋之(南国市立北陵中学校)

③ 閉会行事 15:25～15:35

次期大会運営委員長挨拶 ----- 永田 繁雄(東京学芸大学)
第84回大会閉会挨拶 ----- 行安 茂(岡山大学名誉教授)